

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年12月20日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部政治学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年12月20日
明治大学卒業予定年月	2024年10月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	メンフィス大学(日本語名) University of Memphis (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input checked="" type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他: 州立
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月上旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	16,700人
創立年	1912年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 ()	日本円	備考
授業料		円	1ドル 150 円換算
宿舍費		320,000 円	South hall
食費		120,000 円	
図書費		30,000 円	
学用品費		0 円	
携帯・インターネット費		6,000 円	
現地交通費		10,000 円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		0 円	
被服費		30,000 円	
医療費		8,000 円	ツベルクリン検査に引っかかって、別の検査代も取られた
保険費		56,000 円	形態: 明治大学の保険
渡航旅費		500,000 円	行きは何か国か回ったため、通常より高い (通常なら、300,000 程)
ビザ申請費		50,000 円	
雑費		0 円	
その他		400,000 円	旅行、娯楽
その他		円	
合計		1,520,000 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 東京 目的地: メンフィス 経由地: 東南アジア 10 カ国、イギリス、ニューヨーク 復路 出発地: メンフィス 目的地: 東京 経由地: ロサンゼルス
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 諸々 料金: 300,000 復路 航空会社: Spilit と zipair 料金: 140,000 ∴ 合計: 440,000
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: スカイスキャナー: 旅行代理店使う必要全くないです。自分で取った方が、圧倒的に安い。同じ留学先の日本人学生で、本来 30 万円出行けるものを、旅行代理店で往復 60 万円取られていました。) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: South hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人: 途中で相方は引っ越しました)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
留学先大学に提示された手順で行った
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
<p>South hall は現地学生に、「刑務所」と言われるほど、最悪です。暗くて、キッチン、冷蔵庫もなし。一方で、carpenter complex は割といいです。ただ、South hallの方が一学期で 15 万円やすいので、こちらを選択しました。1 年間なら絶対に carpenter で、なるべく費用を抑えたい+忍耐力を鍛えたいなら South hall です。キッチン、冷蔵庫は、carpenter の友人の家のものを使わせてもらっていました。ただ、スケボーで 15 分くらいかかるほど遠いので、苦労しました。</p> <p>環境是最悪でしたが、そこで生活したことで、「何事にも感謝すること」「どこでも生きれる自信」が身につきました。共用部分に、ピリアードがあるので、ピリアード好きにはいい物件かもしれません。</p>

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学アドバイザーが最初の方に教えてくれました。対策は、極力行かないことです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学構内、寮はWi-Fiがあったので、最初の2ヶ月はSIMを買わないで生活していました。後半に旅行に行く関係で、SIMを買いましたが、そんなに焦らなくてもいいと思います。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレカ

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

焼肉のタレ、鍋の素←これは売ってないのでまじで持っていった方がいいです。

日本のお菓子(友達作りきかけ)

語学勉強本(これはあった方がいい)

現地のスーパーやAmazonである程度のものは購入できます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English composition	英作文
科目設置学部・研究科	
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60or90 分が合わせて 4 回
担当教授	Hale
授業内容	小説やコミュニティ分析等の執筆
試験・課題等	大きい課題作文が 3 つ
感想を自由記入	1 番大変でした。ライティング向上のためという軽い気持ちで受けましたが、ネイティブでも苦戦しすぎて授業に来なくなる人続出していました。結果的にクラス 1 位でしたが、4 年である程度能力があったからこそ乗り越えられた気がします。1.2 年の時の自分だったら絶対無理でした。そんなにタメにもなりません。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Oral communication	プレゼン
科目設置学部・研究科	
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が3回
担当教授	
授業内容	プレゼンについて学ぶ
試験・課題等	大きいプレゼンが3回
感想を自由記入	かなりきつかったです、1番タメになる授業でした。プレゼンの構成を学びます。個人プレゼンが2回、グループプレゼンを1回行います。かなりご学力をもとめられる授業です。グループプレゼンでは、英語力が低いことから、チームメンバーとの距離感が生まれ、正直つらかったです。しかし、今思うといい経験でした。授業が朝8時から1時間週3回あり、朝早く起きる習慣は維持できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Japanese society and culture	日本文化と社会
科目設置学部・研究科	
履修期間	一学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Nishi
授業内容	日本の文化や制度について学ぶ
試験・課題等	ミニ課題が5回、最終プレゼン1回
感想を自由記入	1番楽しい授業でした、おススメの授業です。テストもないです。ミニレポートと、簡単な最終プレゼンのみ。 正直、日本の表面的な部分だけを学ぶのかとおもっていましたが、とてもリアルな日本の情報を改めて知ることができました。また、生徒が積極的に質問するので、外国人が日本に対して思っていることを聞けてとても興味深かったです。また、日本への興味がある生徒が受講している授業なので、友達も作りやすいです。授業休まなければ、かなりいい評価がもらえると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to film	映画入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教授	
授業内容	映画視聴 or 映画の用語を学ぶ
試験・課題等	中間試験、リサーチペーパー(グループ課題)、最終試験
感想を自由記入	週1で180分1コマとなっていますが、実際のところは120分も授業が行われません。比較的楽な授業です。試験も、授業資料の単語を暗記していれば、単位は取れます。半分以上が、映画を見る授業ですが、なかなか面白かったです。内容は、割と面白いですが、明治大学でも似たような授業がありました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
OB訪問
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
営業
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就活を理由に留学を諦めるのはもったいないです。就活は、再挑戦できても、留学は一生できません。社会人になって留学すればいいと思って、学生の時とハードルが何十倍も違います。自分は就活を途中で中断させてまでも留学した自分の選択は正しかったと思っています。ただ、留学は行くのが早ければはやりほどいいと思います。休学決断前は同期と1年卒業がずれることに対して、かなり不安を抱いていました。しかし、実際遅れてみると、同期からの就活の情報がかなり入ってきますし、周囲と比較することもなくなり、自分としっかり向き合った状態で就活できます。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	面接不合格(1回交換留学落ちました)
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	面接合格
留学/帰国年	1月～3月	就活辞退、手続き
	4月～7月	手続き
	8月～9月	留学
	10月～12月	留学

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

【英語に関して】

「英語力を高めた状態で、交換留学に行ってください」正直、英語力が低くてもなんとかあります、ただ、英語力次第で留学生活の充実度が何百倍も変わります。何百万という大金を払うのであれば、それに見合った経験、成長をできるように、英語力は懸念がないくらいまで上げていきましょう。

【就活全般に対して】

特に3、4年生に向けたメッセージです。自分は、学部の都合上休学しなければ、交換留学にいけません。就活に力を入れていたこと、これまでストレートできたこともあり、当初は1ヶ月以上悩みました。しかし、卒業を1年遅らせ、再度就活をしている現在の心情は、「卒業を1年遅らせてまでも留学して良かった」と思っています。むしろあのまま、留学しなければ「学生時代留学すれば良かったな」と後悔する人生だったと思います。

【留学全般に対して】

メンフィスは娯楽が少ないです。娯楽があっても危険が常に迫っています。授業以外のおすすめとしては、スポーツを積極的に行うといいと思います。

例: 部活に入る(男子バレー部に所属した人は非常に充実している様子でした)、スケボー仲間を作る(やっただけで友達になれます)、